



議会だより

第30号

# みなべ

平成24年8月1日

発行 みなべ町議会

編集 議会広報特別委員会

〒645-0002 和歌山県みなべ町芝742

TEL 0739-72-1334

FAX 0739-72-1335

～紀伊半島大水害～

**まけるな!! 和歌山**



第2回定例会

梅収穫体験ツアー

**議案審議** ..... P2～3

**一般質問(7名が登壇)** ..... P4～10

**意見書採択** ..... P11

**常任委員会、特別委員会報告** ..... P12～13

**サークル紹介** ..... P14

# 議案審議

第2回定例会の議案審議は、5月31日の議会最終日に行われました。今議会では、学校給食センターの増築に関する契約の締結や条例改正、補正予算などに関して審議を行いましたので、その主なものについて報告します。

## 給食センター増築 (厨房・備品)

**Q** 落札業者の自社製品が多数あるが、どの会社も、備品には、それぞれの自社で工夫した、自社製作品が多くあります。

**A**



給食センター増築祈願祭

**Q** 増築に伴う備品と替えるのですか。思うが、すべて入れ替えるのですか。

**A** 移動ラックや整理棚は利用するので、ほとんどの備品は入れ替わります。



建設予定地

**Q** 今後のメンテナンスはどうなるのか。

**A** 衛生管理講習や調理実習を行い、機械の操作などにも協力支援をお願いしていますので、メンテナンスも同じ業者に2年間、無料で行っていただきます。

## (電気設備)

**Q** 現在の関西電力の電力供給では、節電も考えなければならぬと思うが。

**A** 電力不足を想定して、太陽光発電や夜間電力を利用した設備も考えています。

## 外国人登録法

**Q** 外国人住民の漢字圏は中国だと思いが、韓国はどうなるのか。

**A** 漢字表記の漢字圏の外国人住民は、韓国と中国が該当すると思われます。表記方法は、アルファベット表記と正字(登録されている漢字)で併記し、備考欄にカタカナ表記されると考えています。

## 避難路の整備は

**Q** 地形によって異なると思うが、階段がスロープか。

**A** また、手すりの設置も考えているのか。

**A** ロイヤルホテルや猪野山公園への直登コースで勾配が急な所については階段を、また必要なところには、手すりの設置も考えています。



南部保育所前の避難路



ロイヤルホテルへの避難



上南部学童保育所予定地

## 上南部学童保育所

**Q** 定員60名程度、軽量鉄骨造で床面積100㎡の建物の工事予算額は。

**A** 建物費用2500万円程度に、また既存倉庫などの解体撤去費用が加わります。



南部学童保育所

**A** 平成23年度の国民健康保険税の調定額は、5億2964万5千円でしたが、平成24年度の調定額を試算すると、5億8169万4百円になる予定です。

## 国民宿舎の償還金

**Q** 国民宿舎は、毎年5千万円ずつ償還するはずなのに、今年はずせ、3千万円なのか。

**A** 昨年起きた東日本大震災や台風被害によって、宿泊客や観光客が減り、減収したためで、未返済の2千万円は、翌年度以降への償還繰越金としています。



国民宿舎

担で、JANAみなべいなみが、農地の貸し借りに取り組んでいる事業です。なお、平成23年度の貸し借相談は61件あり、そのうち23件が成立しています。

## 防災ヘリポート 予定地

**Q** ヘリポートへの進入路は、大型車の通行もできるのか。

**A** 一部狭いところの拡幅が必要だと思えます。



撤去された千里観音展望台

## 千里観音展望台 解体撤去後は

**Q** 展望台撤去後の安全対策などは。

**A** 撤去後はロープを張る程度ですが、今後検討していきます。

## 放棄園対策

**Q** 農地利用集積円滑化団体補助金の成果は。

**A** 町が2分の1負担



筋のヘリポート予定地

# 一般質問

一般質問は5月28日に7人の議員が行いました。(質問者から提出された原稿とおり掲載しています)



原田 覚 議員

## 通学路の安全対策

### 質問

4月に京都府亀岡市で、集団登校していた小学生たちが軽自動車にはねられ、死傷したという痛ましい事故がありました。

これを受けて、全国的に安全対策の改善と見直しが行われている自治体が多くなっていますが、みなべ町では、新たに何らかの対策に取り組まれていますか。また、町内の道路事情も変わり、新たな道路・橋・信号機もでき、車の流れは以前と比較して変わってきていますが、登校時間と通

学時間は、同じ時間帯で変わっていません。

車の運転手は、信号のない道路や近道などを選んで通動されている方もいると思いますが、この道を通学路であることを認識しているのか心配です。

保護者からも、車の通行量やスピードを出して走る車が増えたと心配する声が多く寄せられています。

安全対策として、通学路や歩道がない所には、車の運転手にも注意を促すような標識の設置を考えていただきたい。

### 町長

通学路の安全対策につきましては、同じ考えで臨んでいます。交通安全推進協議会の総会を開催した時も、PTAや交通指導員など多くの方々から、ご意見をいただきました。

標識については、飛び出し注意の看板を、町内にいくつか設置しています。

ただ、狭い道路については、車の通行に支障をきたさないように、4分の1サイズの小さな看板を40枚発注し、設置したうえで、今後どうすべきかの検討で改良をしていきたいと考えています。

### 教育長

教育委員会では、校長会で事故について報告をするともに、各学校における通学路の安全確認と、子どもたちへの交通安全教育の徹底をお願いしています。

標識の設置については、飛び出し注意を喚起する看板は数多くありますが、この道が通学路であるという標識については、少ないのが現状です。



### 他の質問

#### 津波対策について

1. 継続的な避難の意識や訓練の取り組み
2. 避難場所の早期整備
3. 南部川河口付近の対策は

を質問しました。



天野 仁 議員

# 高台に災害医療救護所の確保を

## 大震災に向けて

**質問** 5月8日～10日にかけて、東日本大震災で被災した岩手県の6市町を、議会で視察しました。

被災地によつては、海岸から数kmの山すそ辺りまでの一面が、建物の基礎のみ見渡せる光景でした。

いずれは起きる南海地震などの地震や大津波による被災患者への医療体制については、昨年12月議会の一一般質問でも質問しましたが、救護所となる「ふれ愛センター」は、海岸から2.9km、海拔は11mの場所にあります。今年3月末に内閣府有識者検討会が発表した、みなべ町の最大津波予想水位は14.8mで、しかも救護所が床上浸水すれば使用できません。

高台に救護所の確保をとお聞きします。



## 町長

建物の広さや備えておかなければならないものなどについては、町医師会と相談していきますが、まず場所の確保だけでも進めていきたいと考えています。

いずれ、県から示されまます浸水予想図を見てから、検討したいと思います。

## 通信途絶え

### 情報が？

## 質問

東日本大震災が起きた日の夕方、この地方でも携帯電話がつかなくなかった。

現実に、南海地震などが起きた時は、固定電話や携帯電話も使えないと考えなければならぬし、「はあと館」や「ふれ愛センター」が使えない時には、町内自主防災会に「高台に救護所を設けている」と、連絡体制の整備が必要だと思ひ、お聞きします。

## 町長

新しい救護所を考えるまでに、医師会からの意見も聞いて、早急に場所の把握だけでも行っていきたいと思ひます。ただ、現在どこの場所と、町の持ち合わせ場所もありませんので、町立診療所を含めて検討していきます。



町立診療所(高城)

# 高速道路「印南SA」で販売している中国産の梅商品



田中昭彦 議員

## 質問

印南SAで販売している梅商品のなかにも、中国産の梅を使用した商品がありました。ここは、当町も運営に関与している第三セクターのおみやげ販売所でありますが、観光でおみやげを買ってくれたお客さんへの裏切りではないでしょうか。また、鶴の湯温泉でも同じような商品を取売していましたので、販売所のモラルを、お聞きします。

## 町長

印南SAの正式名称は、日高観光物産センター(株)で、大変不勉強で申し訳ありませんが、今まで中国産の梅商品を見つけれませんでした。早速、受託業者と善後策を検討いたします。また、鶴の湯温泉でも販売しているとのことですので、私も同じように販売所のモラルの問題だと思い、同様な策を考えていきます。



中国産の梅商品

## 質問

少子高齢化時代を迎え、ますます高齢者の方が増えています。その方たちの生きがいや豊かな人生を送っていたくためにも、いろいろな施策が必要です。特に、健康管理の一環として、スポーツの振興が大事かと思えます。最近当地でも、グラウンドゴルフを愛好する人が増えているなか、特に高齢者層の参加が多いと聞きますが、残念ながら、当町には専用練習場がなく、日常的な練習ができません。是非、この練習場を作っていただきたい。

## 町長

近い将来、必ず発生すると言われている南海地震や津波からいち早く避難するためにも、スポーツを通じて足腰を鍛えていただきたいと常々思っていますので、この点から、グラウンドゴルフは良いかと思えます。常設の専用グラウンドについては、場所的な関係もあり、今すぐにはできませんが、多目的な運動広場の必要性は感じています。近隣市町では、多目的のグラウンドがあつて利用されているとのことですが、駐車場やトイレに、熱射病対策などもありますので、今後、色々と検討をさせていただきます。

## グラウンドゴルフの練習場を





山中邦夫 議員

# 乳幼児施設を高台へ

## 質問

3月31日に発表された「南海トラフ」沿いの巨大地震の想定（みなべ町は震度7・津波高148m）と、5月8日、10日の3日間、議会の特別委員会で、岩手県を視察してきたことをふまえて質問します。

「こんな地震による大津波が来れば、早く逃げるしかない」と言うことが、改めて思ったところであります。

そこで、私の住む地域から言えば、猪野山などの高台は避難地として、ますます重要になってきますので、その避難路は何本あっても良いと思いますが、いかがでしょうか。

また、庁舎についてですが、すぐには何ともありませんが、長期的な対策として計画を立てて、公共施設を高台へ移転する取り組みも必要だと思えますが、いかがでしょうか。

## 町長

私も、昨年12月2日に、日高郡内の首長全員で、岩手県の山田町を視察してきました。

まず、高台へ逃げる避難路ですが、いくつでもあれば良いと考えていますし、今ある避難路を拡幅したい

考えもあります。

次に、公共施設ですが、いずれも非常に低い所にありますので、年数はかかると思いますが、高台への移転も必要だと思っています。また、公共施設だけではありませんが、非常に狭く、海抜の低いところに、愛之園保育園があります。

## 質問

南部保育所の前を通って猪野山へ登る道は途中まで行けませんが、そこから先は整備が必要な状況です。

この道は、保育所園児や住宅入居者、芝区に住む人の避難路となりますので、整備をしていただきたい。

それから、東吉田の県道200号から上城（うえんじょう）へ行く道路の拡幅も必要だと思っていますので検討していただきたい。

また、公共施設の高台への移転ですが、保育所だけでなく、幼稚園の移転についても、具体的に検討をしていただきたい。

## 町長

避難路は、地元区長さんや地権者の方と相談させていただくことが必要ですので、早急に検討していきたいと考えています。

また、保育所と幼稚園の高台移転については、これも長期的な取り組みになるかと思いますが、検討していきます。



南部保育所前の避難路

# 庁舎に太陽光発電



下村 勤 議員

## 質問

原発に頼らない、火力・風力・太陽光発電を考えたとき、全国的に取り入られている太陽光発電を、役場庁舎の電力補給に取り入れることはできないのでしょうか。

また、一般家庭についても、地球温暖化防止やCO2削減に最も効果的な太陽光発電の設置にかかる町補助を検討していただきたい。

## 町長

関西電力では、この夏、大幅な電力不足が予想されると言われていますので、町では、5月1日よりノーネクタイ・クールビズを始めるとともに、庁舎

で使う電気を抑制するデマンドコントロールシステムの採用や、さらにはエアコンの自動制御装置の設置も計画しています。

庁舎屋上への太陽光発電の設置については、庁舎屋上が空調機器の室外機で一杯になっているため、設置は困難な状況です。



太陽光発電システムパネル(上南部小学校)

非常時の必要最低限の電力や防災無線の稼働電源を確保するためにも、太陽光発電と蓄電池の整備を行うために、グリーンソニーニューディール基金制度があります。

この制度を活用して、浄化センター屋上に太陽光発電を設置することができないか、検討していきます。

また、一般家庭への太陽光発電設置補助については、国や県の補助もありますが、町も地球温暖化防止やCO2削減のために、今後検討していきたいと思っています。

# スポーツ施設の整備



## 質問

近年、大変盛んになってきたグラウンドゴルフのコート整備について質問します。

梅の里愛好会から町長に、要望書を提出されたと思いますが、練習するコートがありません。

町民広場の下流に、練習用コートの整備をしていたらいいでしょうか。

また、昨年の台風で使えなくなった、学校橋下の

## 町長

要望書が提出されています。

愛好者も増えていますが、高齢者の健康保持のために、ゲートボール場の整備とあわせて検討をしています。整備費は補正予算で対応したいと思っています。



中井重雄 議員

# 今年の梅収穫状況 についての判断は

## 質問

今年の梅の状況を、どのように判断しているのか、質問します。

今年の異常気象によって、梅の収穫量が非常に少ないと予想されています。

現に、5月22日の産業建設常任委員会で、南部・上南部・高城・清川地区内の12樹園地の梅の作況状況調査を行った結果、昨年の6割程度でした。

また、5月17日の山間部の高城や清川地区を中心に降った雪によって、収穫前の梅に与えた被害は大きい



と、県が発表していますし、5月24日と25日に、JJAや県つめ研究所などで構成する協議会による着果調査でも、過去10年の平均に比べ、4割減との発表です。

このように、今年の梅の収穫量が少ないなか、今年の青梅や梅干の値段はいくらぐらいか、梅の総売り上げはどれぐらいか、また農家所得と税収についてもお聞きします。

## 町長

青梅や梅干の値段と総売り上げ、それから農家所得と町の税金などの数字的なものにつ

いては、今後の需給バランスによるところが非常に大きく、現在把握していないのが実情です。

ですが、今後も関係機関と連携を密にして、対応していきたいと考えています。

従来ですと、若干の不作には単価の増や、それから農業共済の保険などで補填された部分もあります。

ただ、それ以上の被害があった場合には、生活費に對しての無利子融資制度もありましたが、現在のところ、そういう情報が入ってきていません。

そこで、どれぐらい共済金で賄えることができるのかは、今後の動向をみながら、進めていきたいと思っています。



雹(ひょう)被害のあった梅

## 質問

町としては、今梅干の値段などの諸々については、どれぐらいという考えはないということですね。

同時に、農家収入が減る場合は、融資制度を行うということだけで良いのでし

## 町長

ようか。町としては、数字のみで考えていない、決してそういうことではありません。

色々模索していくなかで、一日も早く数字をつかみたい、それは農家の皆さんと同じ思いです。

# プラムポックス ウィルスについて



寺本文雄 議員

## 質問

プラムポックス ウィルスによる梅の感染は、3年前に関東で確認され、2万本近くの梅の木が処分されましたが、大阪や奈良などでも、感染苗木からの感染が確認されました。

この地の梅に、もし感染が確認された場合、梅の木の間伐などの処分が必要となるため、梅の収穫量の激減や長期的甚大な被害も予想されますので、ウィルス感染予防策や感染症状などの周知方法は、

## 町長

このプラムポックスウィルスは、梅・桃・スモモなどのサクラ属の植物に広く感染する特定重要病害虫で、植物には感染するが、人には感染しない、果実を食べても健康への影響はありません。ただ、この病気にかかると、梅の実が落下してしまう症状が出るようで、全国では、東京・茨城・神奈川・滋賀・大阪・奈良の1都1府4県で、感染が確認されています。

県では、ウィルス感染調査を、平成21年度から毎年行っていて、現時点での感染は、確認されていません。また、国でも感染苗木の



健全な梅の木

持ち出しをしない措置を行っています。

なお、感染が確認された青梅市では、梅の木をすべて伐採・伐本・焼却処分したと聞いています。隣の県まで感染している現状ですので、県とともに水際対策をとっていく必要があると思います。

今後は、独立行政法人農研機構果樹研究所などと十分に連携を取りながら、対策に努めていきます。

## 質問

そういう症状が出た場合の対応策は、

## 町長

ウィルスには抗生物質が効かないということですので、国が開発されている3種類のキットを一度取り寄せてみたいと思います。国や県の調査を待つので

はなく、町や梅生産者が、自らが絶えず注意していたら、感染した場合は伐採

## 古川の水質状況について

## 質問

古川の水質についてですが、全国約2560の川のなかで、平成18年度はワースト1位と水質の悪さが明らかになり、平成19～21年度はワースト5位以下圏外となりましたが、平成22年度はワースト2位と残念な結果です。BOD（科学的酸素要求量）の数値が高いほど、水の汚れがひどいとされていますが、22年度には基準値の3倍以上となる数値が検出されました。

古川が汚いことを、多くの方がご存じだと思いますが、水質調査で結果が表れています。この件に関する対応策などは、

## 町長

古川のハード部門については、以前から県に要望してきたこともあったのですが、今後、早くに県へ働きかけたいと思います。今後の対策としては、生活系排水については、公共

や伐本の方法しかないというところですので、早急に取り組みたいと考えています。

下水への接続強化や設置浄化槽の適正管理をお願いしたり、流域自治会での美化・浄化運動を行っていきます。事業系の排水については、事業所排水規制強化と中小規模事業所から報告をいただく方法や公共下水への接続啓発を勧めていきます。

ただ、旧上南部地域は農業集落排水事業のため、工場排水を取り込むことができなかったため、早急に公共下水とのつなぎ込み工事を進めていきます。

## 質問

梅加工業者のモラルと工場から流される排水への薬品検査については、

## 町長

モラルの問題とありです。古川流域の梅加工の全事業所を対象にアンケート調査やサンプリング調査を進めて行き、県と連携しながら規制のあり方を考え直す時期にきたのではと思います。

# 意見書採択

## 子ども・子育て新システム導入に反対し、 現行保育制度の拡充を求める意見書

政府は、「社会保障と税の一体改革」の名のもとに、「子ども・子育て新システム」の導入を推進しようとしています。この「新システム」は、子どもの最善の利益を守る児童福祉法に基づく制度として長年機能してきた現行保育制度解体を企図するものです。

「子ども・子育て新システム」が導入された場合、保護者は我が子の保育所を自力で探し、直接契約をしなければなりません。保育料も所得に関係なく、利用時間に応じて決まります。そのため、「お金がなければ必要な保育が受けられなくなる」と、低所得や母子家庭の保護者から心配の声が聞かれます。障害者や保育に課題を抱えた子どもの保護者からも、「我が子の受け入れ」を危惧する声が上がっています。

また、この「新システム」は、営利企業の参入を認めて保育を利潤追求の対象にするもので、地域間格差も生んでいきます。そして、保育労働者の雇用形態も変わり、労働条件の悪化とそれに伴う保育の質の低下をもたらしかねません。

今、保育現場で問題になっている都市部での待機児童（特に3歳未満）の増加と、過疎地の児童の減少による保育所確保等の問題は、現行保育制度の枠内で認可保育所を拡充することで解決できる問題です。

よって、国におかれましては、子どもの権利と健やかな育ちを最優先に考え、現行の公的保育制度の拡充を図られるよう以下の事項について強く要望します。

### 記

1. 公的保育制度を解体する子ども・子育て新システムの導入を中止すること。
2. 現行の公的保育制度を堅持・拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年5月31日

和歌山県日高郡 みなべ町議会

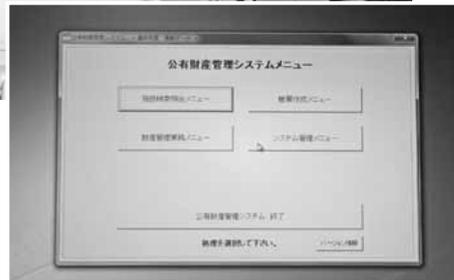
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣  
少子化対策担当大臣、国家戦略担当大臣、総務大臣、文部科学大臣

# 常任委員会報告

## 総務文教常任委員会

4月26日(木)、平成23年度県緊急雇用創出事業で整備した公有財産台帳管理システムの運用状況について、担当課より、町有公共施設と町普通財産(町有地)管理システムの導入に至つ

た経過や、今後の運用方法の説明を受けました。各委員からは、システムの有効的利用と情報管理の徹底化を図っていくべきとの意見がありました。



## 産業建設常任委員会

5月22日(火)、今年の梅の作況状況調査を行いましたので、報告します。担当課と町内12の樹園地へ行き、調査を行いました。今年は、梅の開花・受粉時期の気温低下と雨風などが大きく影響したため、着果率は60・2%と不作傾向でした。

また、5月中旬に山間部の高城や清川で降った雹(ひょう)被害によって、青梅の出荷量は昨年よりも下回ると思われます。



# 岩手県三陸地方被災状況視察研修報告

梅の里まちづくり政策調査特別委員会では、東日本大震災で被災した岩手県三陸地方の6市町を、5月8日から10日にかけて視察研修してきましたので、報告します。

東日本大震災から1年2ヶ月が経過した今、直接現地の被災状況を見る・知る・共感することが必要であると考え、岩手県の陸前高田市・大船渡市・釜石市・大槌町・山田町・宮古市の現地視察研修を行いました。

この6市町は、海に接し、漁業や水産加工業が盛んなところであるとともに、過去の津波被害によって防災意識も高く、海岸沿いには高さのある防波堤・防潮堤も整備されていました。今回の未曾有の大津波で、想像を絶する被害を被りました。

レキなどは一定の場所に集めて分別されていました。1mぐらい陥没した港湾や海岸部などの整備には未だに取りかかれていない状況であり、旧住宅地は建物の基礎だけが残る荒涼とした平地でした。

また、会社などの被災で、働く場所がないことや復興の目途がたないこと、人口の流出も進んでいることから、早急に仮設住宅などで住む被災者への心のケアが必要であるとともに、産業生活基盤の整備や復旧復興には相当な時間と費用を要する状況でした。

我が町も被災地の地形と同じように、海に面し、中



陸前高田市の一本松

央には大きな河川があり、町の中心地や生活基盤は、海岸部・平野部・河川沿いに密集しています。

近い将来発生すると言われている東海・東南海・南海地震による大津波を想定した防災計画全体の見直しと、防災意識を高める避難訓練の実施によって、自助・共助・近助・公助の連携を図ることも必要だと思いましたが。

また、万一の場合に備えた復旧復興拠点施設や仮設住宅の建設が可能な高台の

整備と救護所・避難所・備蓄倉庫などの建設計画の必要性も感じました。



被災した市役所



基礎だけ残っている旧住宅地(田老地区)

# サークル紹介

## パソコンサークル



練習風景

毎週月曜日、南部公民館で、パソコンを指導してくれる先生を迎えて、ワードやデジタルカメラなどを利用した編集を習っています。

### 活動

代表者 芦碓 恵美子  
会員数 6名

### 現在

平成12年3月

### 発足

## 知音書道会



勉強会

みなべ町出身の半田桃香先生の指導のもと、自宅学習を基本に、月に1回（南道湯川宅）集まり、練習しています。発足して2年ですが、東京都内の美術館などに出版しています。

### 活動

代表者 室井 大輔  
会員数 14名

### 現在

平成22年4月

### 発足

●一言(知音書道会)  
墨の香り、筆の技で書を  
楽しみたい仲間が集まり、  
楽しんでいますので、気軽  
に見学して下さい。

## あつがき

私たち広報委員は、平成21年2月(第16号)から24年8月(第30号)までの議会だよりで、議会の取り組みや各議員の一般質問の内容を、お伝えしてきました。

また、この4年間は激動した年でもあり、公金不正問題、岩代小学校校舎改築や各学校の耐震補強改修、梅対策、みなべ新橋完成、鳥獣被害対策、国道424号改修、台風12号被害なども適確にお伝えしてきました。

平成25年2月(第31号)からは、新体制でのスタートですが、町民の皆さんのご意見や感想も寄せていただければ幸いです。  
4年間、御愛読いただきました町民の皆さま、ありがとうございました。

### ●一言(パソコンサークル)

パソコンが初めての方や、勉強したい方のご参加をお待ちしています。